月刊 かわごえ環境ネット

2017年4月号 No.126 http://kawagoekankyo.net

2017 年 4 月 5 日発行　編集・発行：かわごえ環境ネット

田んぼの春

定点カメラによる田んぼの様子（4 月 3 日 14:00）
http://camera.hkose.com

本会会員であるかわごえ里山イニシアチブの圃場がある川越市福田の「初雁の里」では、日中に 1 時間ごとに定点撮影を行い、インターネットにアップロードする「田んぼカメラ」を設置しています。「ストロベリーキャンドル」とも呼ばれる「ベニバナツメクサ」を秋口に種まきし、田んぼ一面が緑色に見えるようになりました。緑肥植物として植えられたものですが、そろそろ花を咲かせて、土の中にすき込まれていきます。国道 254 号線と川越北環状線の福田交差点近くですので、お近くにお越しの際はお立ち寄りください。

4 月中旬は「ウワミズザクラ」

東洋大学川越キャンパスのウワミズザクラ
（2016 年 4 月 18 日撮影）

サクラといえば「ソメイヨシノ」を思い浮かべる人がほとんどですが、ソメイヨシノはすべて植樹によって増えたもの。雑木林では、野生のサクラが見られます。ソメイヨシノと同じ時期に咲くヤマザクラは、葉と花がいっしょに出てきますが、葉が先に出て花が半月ほど遅れて咲くのがウワミズザクラです。コップブラシのような花の姿は、ぱっと見た感じではサクラに見えませんが、近づいてみるとサクラに共通の 5 枚の花弁があります。4 月中旬に（仮称）川越市森林公園計画地や東洋大学川越キャンパスでご覧ください。

目次

コラム	私のエコ体験（10）分かち合いエコ生活	2
	川越の自然を訪ねて（52）久保川の水文－身近な自然環境を知る	3
報告	第 15 回かわごえ環境フォーラム（詳報）	4-6
	会員・流域の活動（2 題）	6-7
	理事会・専門委員会（3 題）	7-8
予告	かわごえ環境ネットの主催・出展・関連行事（5 題）	9-11
	会員・関係団体の主催・関連行事（9 題）	11-13
	広報委員会からのおしらせ	14-15
	イベントカレンダー（4 月 5 日～5 月 27 日）	16

【コラム】私のエコ体験（10）分かち合いエコ生活

若者にも知ってほしい「超寿の条件」

雨の中、他市から参加　来てよかった

来月仲間誘ってみます♪

「健康と環境とお財布にやさしい生活術」というテーマで意見交換会を開いています。

健康と生活環境が密接な関係があるということを伝えてくださる小児科医と出会い、なぜ自分の花粉症、辛い冷え性、頭痛、肩凝りが消えたのか理解できたのです。その上、インフルエンザ、風邪も引きにくくなりました。

エアコンなし、扇風機もほとんど回すことなく過ごせる体になりました（当然、財布から出ていく物は少なくなりました)。この生活環境の見直しと身土不二（地消地産）の生活をすることで、健康にも環境にもお財布にもやさしくなれたのです。自分だけではなく、多くの人が安心して暮らしてほしいと思いこのテーマにして、約 2 年開いてきました。参加してくださる方たちと対話形式で、質問を共に考え、意見交換しているので、2 時間があっという間に過ぎ、30 分延長ということが多いです。一人でも多くの方に参加していただきたくて、聴きながらアクリルタワシやマイ箸袋作り、ワイシャツのリフォームなどもとりいれています。

＜生活環境の見直し＞●通気性のある素材にする●暖身・冷身（体そのものを暖・冷、湯たんぽなど。暖房・冷房⇒冷えを招く）●体を動かす（徒歩・自転車）●洗濯（足踏み洗濯・洗剤・石けんなし）●掃除（茶がら、ほうき、ちりとり、水拭き）●テレビ→ラジオ

＜食生活＞●カタカナ食→ひらがな食へ●よくかむ●「生物濃縮」の危険（小魚アジ、サンマを基本）身土不二=地場の食べ物を食べる（環境を汚染しない・保存料や殺菌剤も使わずにすむ。ガソリンや電力の節約にもなる）家庭菜園（90%賄う）●旬の物を食べる●自分より体温の高い食べ物はとらない、など。

そろそろ暑い日もあります。熱中症予防を今から。こまめな水分補給・・・しっかり汗をかいて体温調整を。のどが渇く前に飲む・・・熱いところに出かける前にもコップ一杯。塩分も一緒に補給。暑さにも慣れておくといいですよ。うちわを手の届くところに用意。

3.11 を忘れていませんか？　災害は、いつやって来るかわかりません。エアコン・扇風機に頼っていると、暑い日に災害、あるいは停電が何で起こるかわかりません。エアコンなし、扇風機も夏数回使用（そうしなさいと言っているのではありません）で済んでいる知恵を知っていれば､今より少しエアコンの温度を上げたり、使用回数、時間を減らせたりしますよ。

4 月 18 日（火）10:00～12:00 ちょっとの時間でも OK!　高階南公民館コミュニティスペース（経費は無料）ワイシャツのリサイクルもします。よろしければワイシャツ、糸切りばさみ、針と糸、待ち針をお持ちください。

特に熱中症については今から対策を考えていきましょう。体のすっきりしかたがあります。

1 年間の使用料（使用量）

・5 人家族の電気代 80,299 円（3,263kw/h）→44,815 円（1,891kw/h）に減少

・H28 年 2 人家族の電気代 28,696 円（1,057kW/h）（6 月から自然エネルギーに変更）

・LP ガス代 42,995 円（45.3m^3）

・上下水道代 22,595 円（124m^3）

（ネットワーク「地球村」川越　松岡寿賀子）

【コラム】川越の自然を訪ねて（52）久保川の水文－身近な自然環境を知る

市民の森 7 号地

浄化施設

準用河川という格付けがあるのを初めて知りました。この川の管理は川越市が行います。福原にはこの川が 2 河川あります。久保川と今福川です。狭山市祇園地内を起点とする（水源は不明）久保川は延長約 8km、流域面積約 11km^2 で、狭山市と川越市の割合は 1:3 で、畑や住宅のそばを流れて岸町三丁目で不老川に合流する小さな川です。

この川は、農業用排水路として、不老川土地改良区が整備して、1998 年（平成 10 年）に川越市への管理が移譲されました。河川の構造は、上流から下流までほとんど変らず、河床 1.5m、土手の幅 8m、深さ 2.5m の台形で最大流量（洪水時）45m^3 が排出可能な設計となっています（川越市河川課の資料より）。

周辺の環境は、一部畑に隣接していますが、川越部分は住宅に接しています。川のそばの接道を歩いてみましたが、土手を歩くことができない部分もありました。川に隣接して市民の森 7 号地があり、まとまった緑地を形成しています。川の流れは滑らかですが、パチンコ店の裏側には 2m ほどの落差工があり、魚類の遡上を妨げています。

河床は、コンクリートの三面護岸で変化に乏しい流れですが、県道橋の下は広くなっており、流れがゆるやかで、土砂も少し堆積して水生植物も見られます。下流最後は 80cm の水路となっており、2000 年稼動で「ひも状プラスチック接触酸化＋木炭」の浄化施設の下に 1m ほどの落差工があり不老川に合流しています。

自然が少ないと考えられる久保川をモニタリングしました。まず、手始めに野鳥の観察からです。川辺にいたのは、マガモ、キセキレイ、ハクセキレイ、イカルチドリ、コガモ、カルガモの水鳥と、周辺の環境で生活しているヒヨドリ、スズメ、キジバト、ムクドリ、メジロ、シジュウカラと冬鳥のモズ、ツグミ、ジョウビタキ、カケスを見つけました。

土手の幅は人がやっと歩けるくらいから 2m ほどで狭いので、目だった植生はありませんが、市民の森で観察すると、雑木林の中と広い土手沿いに 66 種類の植物を見つけました。また、チョウは 3 種類ですが、ヒメウラナミジャノメを見つけました。

川越市環境対策課が毎年調査している久保川橋での水質は、次の表の通りです。溶存酸素は 10ppm 以上で BOD は 5 以下で魚が生息できる水環境になっていることがわかります。川越市の環境行政より）。

久保川橋の水質

	2011	2012	2013	2014	2015
pH	9.2	9.2	9.2	9.1	8.7
DO	12	9.8	9.9	12	10
BOD	1.9	2.9	3.2	3.4	5.2
COD	5.2	6.1	7.7	8.1	7.3

（過昌司（福原水と緑の会））

【報告】第 15 回かわごえ環境フォーラム（詳報）

本紙 3 月号でお伝えした、2 月 25 日開催の「第 15 回かわごえ環境フォーラム」ですが、詳報を本号でお伝えします。

午前の部「環境活動報告会」

社会環境部会の発表

2 月 25 日（土）午前中は南公民館で、個人・団体からの日ごろの活動の報告があり、80 名ほどの参加者が熱心に聞き入りました。

初めに、恒例となったふくはら子どもエコクラブ小学生 8 人の、「ヤマと畑はワンダーランドだ～ふくはら子どもエコクラブの活動報告 2016～」と題する発表は、小学生の体験学習からの大人へのメッセージでしょうか。成長していく子どもたちの将来が楽しみです。

次に、大久保彦さんの「川越市民の森のキノコⅡ」発表もシリーズとなりました。キノコ観察からも、温暖化の影響と思える種が出てきているとのことでした。

宮﨑誠さんの「『パリ協定』と我々の対応」の発表では、パリ協定の解説と自宅の太陽光発電のデータ分析がありました。

クリーン&ハートフル川越の「ゴミがゴミを呼ぶ　解決への模索と提言」の発表では、足元を見つめて 18 年、不法投棄との闘い、自転車の置き方も問題と、日ごろの取組からの報告がありました。

かわごえ里山イニシアチブの「人がつながり生きもの育む川越街づくり」～田んぼから広がる共生の輪・豊かな暮らしデザイン～の発表では、一年間で消えていく動植物の多いこと、ビオトープ田んぼの取り組みなど、地域での多様な活動報告がありました。

東洋大学・成海啓誉さん他の「栽植密度・植え付け本数の違いによる稲の生育の変化と収量の比較」発表では、年間を通した調査を根気よく実施した報告がありました。会場から埼玉県の研究所の研究データとの比較活用などの提案もありました。

東洋大学・津田麻衣さん他の「東洋大学川越キャンパス『こもれびの森』の植生と森林施業による環境の変化」の発表では、下草刈りをしないことでヤマユリが大幅に増えたとの報告がありました。

東洋大学・佐藤加留磨さん他の「川越『昭和の街』における街並みの変化と魅力的な要素の把握」発表では、ワークショップ実施の分析報告がありました。会場から川越の研究グループとの交流アドバイスもありました。大学生の研究発表は 3 件ありましたが、取り組んだことを将来活かしてほしいものです。

初野建材工業の「市民の皆様に向けた住宅に関する環境問題の啓発活動」発表では、現業からの六価クロム対策について報告がありました。

かわごえ環境ネット「社会環境部会の活動報告」では、環境施設の見学や緑のカーテン普及推進、環境講演会、エコドライブ教習会などの報告がありました。

かわごえ環境ネット「自然環境部会の活動報告」では、「水と緑と土」をメインテーマに生物多様性保全を中心に活動を進めてきたこと、「（仮称）川越市森林公園」計画地の調査や保全再生活動、観察会の開催。埼玉県の生き物モニタリング調査やかわごえ生き物調査の推進、小学校支援、チョウ・トンボ調査などの報告がありました。

（菅野仲夫）

午後の部「川越市環境行動計画策定記念講演会」

望ましい環境像の実現に向けて−第三次川越市環境基本計画と川越市環境行動計画

箕輪信一郎環境部副部長の講演

午後は、会場をウェスタ川越多目的ホール C・D 室に変えて、川越市環境行動計画策定記念講演会が開かれました。13:30 からの前半は、まず川合市長の挨拶で始まり、川越市とかわごえ環境ネットの協働で作られた「川越市環境行動計画」の改定の経過が、箕輪信一郎環境部副部長から説明されました。昨年 3 月に策定された「第三次川越市環境基本計画」と連動し、川越市の望ましい環境像実現に向けた、市民の環境に配慮した行動への取り組みがわかりやすくまとめられ、その新しい冊子が参会者に配られました。

ついで、今回の改定作業をまとめた、かわごえ環境ネットの小瀬博之理事長から内容の詳しい説明がありました。望ましい環境像が実現した時の川越のようすの説明には、参会者の共感を呼びました、ついで、チェックシートにそって､実際に環境に配慮した 40 項目にわたる行動を各人が評価しながら点数をつけました。行動の中身に点数をつけるとなると苦労しました。特に水環境の保全に関係した項目では、雨水利用とか洗剤の使い方で点数が別れました。200 点満点に近い人が数人、100 点前後が多数でした。今後、公民館活動やイベントなどでこのチェックシートを活用し、市民の環境に配慮した行動の向上が期待されます。　　（武田侃蔵）

基調講演：原村政樹氏「川越の魅力を知る−雑木林からの発信」

原村政樹氏と飯島希本会理事との対談

原村政樹氏の講演は、映画「武蔵野」7 分間の予告映像から始まりました。原村氏は 40 年前から川越に住んでいます。「里山の学校」「天に栄える村」や「無音の叫び声」（東北農業三部作）などの短編映画やドキュメンタリーの監督制作が仕事です。2013 年に NHK「新日本風土記」で「川越」を撮りました。その際に観光地としての中心街と農村部との関わりが深いのに、江戸農法が継続されていることが知られていないことに気がつきました。それで、次の 3 つの論点（1.雑木林の成り立ち、2.生命の連鎖、3.農業に関することを撮るのがライフワーク）から映画制作を決めたそうです。雑木林は、17 世紀ごろマグサ場だった土地を、農家が広葉樹を植えて改変した場所です。原村氏は、若い頃からよく散歩していた「（仮称）川越市森林公園」計画地で見かけた落ち葉掃き（クズハキ）が何のためか理解していなかったと言います。また、雑木林の存在は知っていても、江戸農法が継承されていることや循環型農業については、あまり知られていません。現在の農家の方達は、先祖が残してくれた土地に感謝しながら農業を続けています。自然相手の農業は気候の変動などで猛威をふるわれ、必ずしも良いことばかりはありませんが、「山の神様」がいると思う精神構造を持って、自然のありがたさを感じ、生命の循

環を支えていっています。川越まつりの山車に乗っているお囃子は、中心から離れた地域で継承されているものです。街と村がつながって、伝統的な行事が続いているように、農業と市民がつながることの重要さを話してくれました。農業者ではない原村氏から農業への熱い思いが感じられる講演でした。まだまだ農地（水田や畑）の多い川越は、農地が気温を下げる役割があるなど環境に寄与している部分も多く、市民ができることが多種にわたるものと思います。講演を聴いた人から環境活動の輪が広がって行くとよいなと思いました。

映画「武蔵野」が 10 月に完成予定です。この世界でも類を見ないほどの農業が継続されている川越の自然に触れてみたいと思いませんか？

（横山三枝子）

【報告】会員・地域の活動

わらじワークショップ&縄ない練習会

かわごえ里山イニシアチブ

会場の様子

去る 3 月 4 日、川越市北部ふれあいセンターにて、わらじワークショップ&縄ない練習会を実施しました。

この日のために神奈川県川崎市から講師として宮崎さんをお呼びしました。彼は頼もしい 20 代。小学生時代はわらじを履き倒し、早くからわらじ編みをマスターされています。現在は、手縫いの皮靴を製作中とのこと。火打ち石で火を起こしたり、縄文時代、戦国時代の栄養価の高い非常食を調べては実践されたりしています。縄ない、わらじ編みを教わりながら、そんな彼のお話が聞けたら面白いと、稲刈り時期から企画していました。

受講者は、会員問わず埼玉県、千葉県、東京都より 15 名､下は小学生からの老若男女が集いました。昨年 11 月に、かわごえ里山の無農薬稲わら・マコモ葉を使ったしめ縄作りの会を行いましたが、以来、縄ない技術をマスターしたい会員が増えています。

日本人には欠かせないお米にフォーカスしているかわごえ里山イニシアチブの活動ですが、稲作で得たわらも古人の知恵、文化を継承しながら有効活用を考えています。神事にみるしめ縄、日常生活で用いる縄の造作物など、日常生活の中に深く残っている縄ないの文化を再認識して感動を呼びます。

しめ縄をマスターしたい！縄ない練習会をもっとやって欲しい！とのうれしい声を多数いただきました。縄ない文化、日本人の「民の技術」を再び取り戻したいところです。

今回、わらじワークショップと題して開催しましたが、縄ない自体が未経験で、満足な縄をなえるまでには相当な準備・練習が必要だとわかりました。わらの扱いに慣れながら、初心者には、ロープや、布製の紐などで手順を覚えてから、わらじ編みに入った方がよいという結論になりましたが、参加者からは、わらに触れる

機会が中々なかったので、たくさん触れられてよかったとの感想を多数いただきました。

しめ縄の経験がある方、全く初めての方、同様にわらに触れながら、楽しい時間をシェアできたことに価値があったと気付かされました。今や、世代を越えた交流の場として、日本文化の継承という観点からも、地域に根差した縄ないの場を展開する意義を見出しました。

同じときに、北部ふれあいセンターを利用されていた他団体の方々の目に触れて､｢昔やったことある！｣｢懐かしい！｣などと聞かれました。わらじ編み機があるから提供してくれるなどの話も出て、楽しい地域のつながりも生まれました。

稲作は、お米を得るだけでなく、得られるわらで納豆仕込み、わら仕事ができ、もみがらや稲わらは、畑の土つくりなど貴重な農資材でもあり、全く無駄がなく自然循環しています。しかも地域を、人と人とを結びつける不思議な力があります。毎日食べているお米、地産地消を加速しながら、稲作参加する市民が増えることを願うばかりです。　（林哲也）

第 21 回荒川流域再生シンポジウム開催

非営利活動法人荒川流域ネットワーク（鈴木勝行代表）主催の「第 21 回荒川流域再生シンポジウム」が、3 月 12 日（日）午後、嵐山町の国立女性教育会館大会議室で開かれました。

埼玉県の魚の専門家の金澤光さんの「2016 年度の菅間堰の魚道とアユの遡上について」の詳しいデータによる報告がありました。“入間川にアユを”を合言葉に､農業用の堰に魚道を作り、尾びれを切った標識アユを放流して観察を続けてきましたが、まだまだ所期の目標には届かない“アユ復活”の難しさが報告されました。菅間堰については、最初の工事の修正で、改良された経過も豊富な写真で報告されました。

続いて､埼玉県南部漁協の佐藤正康さんから、新河岸川や荒川のアユについての報告、渡邉勇さんから 2016 年の荒川流域水質調査の結果報告、東松山農林センターからの「川の国はつらつプロジェクト」の説明がありました。

後半は、恒例の「水かけ“サ”論」で、参会者からの自由な発言で盛り上がりました。小川町から参加した人が、槻川や市野川などの水量が減っている状況について報告し、山の植生など、広い自然環境の変化にいかに対応すべきかと、貴重な提言がありました。荒川上流河川事務所の担当者も質問に答え、環境団体との交流を深めました。　（武田侃蔵）

編者注：荒川流域ネットワークのホームページにも報告があります。

http://arakawanet.machisapo.com/

【報告】理事会・専門委員会

理事会・事業運営委員会

3 月 15 日（水）、第 11 回事業運営委員会を 9:00-10:00 に、第 12 回理事会を 10:00-12:00 に福田ビル 3 階で開催しました。主な議事は次のとおりです。

①事業運営委員会において、次年度実施する全体事業について検討しました。委員会管轄事業で必要な全体事業にかかる予算は、本委員会において計上することにしました。川越市環境行動計画（かわごえアジェンダ 21）については、別途推進委員会を設けていましたが、人的資源も限られるので、事業運営委員会に吸収する方向で検討することにしました。なお、傘下に置いている水辺と川の小委員会については、個々の活動は継続していきますが、とりあえず休止にして対応する方向で検討しています。

②今年度の組織及び各専門委員会の事業報告、

会計状況､事業計画案､予算案を確認しました。4 月 12 日（水）の次回理事会に向けて総会議案書（案）を 4 月 7 日（金）までに分担執筆して検討することにしました。

③7 月 23 日（日）に開催される「エコプロダクツ川越 2017」に例年通り出展することを確認し、会員等に共同出展者を募集することにしました。

④2017 年度総会を 5 月 27 日（土）に開催する方向で準備することにしました。今回は役員の改選はありませんが、会則の改正を議題とすることにしました。

⑤「新河岸川広域景観づくり連絡会 10 年の歩み」に投稿する武田氏の原稿について、事務局と内容の調整を行っているとの報告を受けました。

⑥かわごえ環境ネットのパネル更新について報告がありました。

⑦3 名の個人会員が入会し、3 月 15 日現在の会員は、個人 121、民間団体 29、事業者 25、行政 1 の計 176 会員となりました。

（小瀬博之）

社会環境部会

社会環境部会 3 月例会は 3 月 10 日（金）福田ビル 3 階会議室において 7 名の出席のもとに開催されました。

1.報告事項

部会代表から、2 月の理事会において会則の一部改正を次期総会に提案する議案、ボランティア保険に係る対応の改善等が決定されたことが報告されました。

2.協議事項

次の各活動について協議しました。

①次期総会に諮る社会環境部会の平成 28 年度事業報告並びに平成 29 年度事業計画及び収支予算の案が改めて了解されました。

なお、公民館を想定した講師派遣型の活動について、2 人のメンバーから演題の申し出がありましたが、なおテーマの充実を期待しながら継続して検討することとされました

②今年度の予算で確保する資器材として会議用のネームプレート等 2 点の確保を、また展示用パネルのバージョンアップについても作業が間に合えば対応することとされました。

4 月例会の進行は渡辺さん､「わたしのエコ体験」コラムへの投稿は松岡さんが担当します。

（社会環境部会代表　板野徹）

自然環境部会

3 月例会は 10 日（金）福田ビル 3 階にて 8 名の参加で開催された

1.活動報告

①「(仮称) 川越市森林公園」計画地定例活動 9:30～12:30、2/13（月）13 名参加　巣箱調査 16 箱中 11 箱利用確認　2/27（月）18 名参加　第 2 ふれあいの森周保全活動

②池辺公園定例活動　3/7（火）　8 名参加　アズマイチゲ開花確認など

③キノコ編集会議　2/17(金)7 名参加　3/8(水)7 名参加　南文化会館（ジョイフル）9:30～12:30

2.協議事項

①次年度の事業計画について

・市の「市民生き物調査」への協力について年に 4 回程度開催の予定　指標種説明書の作成、フィールドガイド、データのまとめと分析など

・定例活動は「(仮称) 川越市森林公園」計画地、池辺公園の継続

・イベントは「キノコの観察会」､「田んぼの生き物調査」､バス利用の研修会など

・調査活動はトンボ、甲虫などの昆虫調査、県民参加モニタリング調査の継続

②その他会計、コラム「川越の自然を訪ねて」原稿確認など　（自然環境部会代表　賀登環）

【予告】かわごえ環境ネットの主催・出展・関連行事

【トピック①】緑のカーテン講座　4 月 20 日　　社会環境部会

出番を待つ成長した苗

60cm 位に成長した苗

試験的に 3 月 15 日鉢に移す

川越市との協働で行っている、平成 29 年度の緑のカーテン普及活動が決定しました。

日程は 4 月 20 日（木）、場所は川越市役所 7 階、14:00 から予定しています。募集要項は 3 月 25 日号の広報川越(9 ページ)でお知らせし、4 月 4 日（火）9 時から環境政策課で申し込みを電話で受付しました。人数は 50 人を予定し、配布品種はパッションフルーツ、アピオス、ゴーヤなどです。ゴーヤの苗に関しては原嶋さん、渡辺さんが担当して育ててくれています。

今年で市との協働は 3 年になります。お陰様で過去 2 年の開催は好評を得ています。過去は 2 会場の公民館で行っていましたが今回は市役所での 1 回のみとなりました。

昨年の結果を踏まえ、今年は早めの苗作りで、すでに育ちの良い苗は、60cm ぐらいに成長しており、数本、鉢に移して経過を観察しています。

今回配布予定の苗は、昨年 8 月に挿し芽した苗になります。教科書的には、9 月頃が挿し芽の時期となっていますが、例年の結果を見て、この地方で育てるには、少し早めでないと冬の寒さで成長が止まり、春になってからの成長が遅れるようです。昨年は伸びが悪く、5 月配布の時でも新芽の勢いがありませんでした。今年は反対に育ち過ぎています。

4 月 20 日の配布日までに、さらに伸びて扱いに手を焼きそうな感じです。目標は配布日までに 40cm を目標にしていましたが、相手は生きものこちらの都合通りにはなかなかいきません。前にも書きましたが、今年の冬は、鉢植えの親木は 1 鉢しか残しませんでした。今までは 10 鉢近く部屋に入れて管理していましたが、たいへんなので方針を変え、親木は残さず、毎年挿し芽でつないでいくことにしました。

間もなく、8 か月間成長を見ながら育ててきた苗たちが、緑のカーテンとしてみなさんにお役に立つことを祈りつつ・・・

（緑のカーテン担当　井口吉三郎）

【トピック②・会員向け】エコプロダクツ川越 2017 共同出展者募集（5 月 12 日まで）

前年の「エコプロダクツ 2016」出展の様子

5 回目を迎える「エコプロダクツ川越 2017」の出展募集が始まります。今年の開催日は、7 月 23 日（日）10:00-15:00 開催です。

かわごえ環境ネットは、今年も出展します。個人会員、民間団体、事業所で「こんな展示、参加をしてみたい」方はお知らせください。当日の参加が難しくても、環境に関する展示等は可能です。ワークショップもできます。もちろん、環境活動への参加募集的なことも。日ごろ

の発表の場として、活用してください。ちなみに、昨年の内容は次の通りです。

展示

・ミミズによる生ごみの堆肥化
・生ごみの減量化
・事業所のエコ活動ポスター
・環境家計簿
・緑のカーテン
・川の活動写真いろいろ

ワークショップ

・EM ボカシ制作
・アクリルたわし
・キャンドルづくり
・間伐材を用いたはしづくり
・ペットボトルロケット制作と飛ばし実験
・東洋大学構内の保全活動と（仮称）川越市森林公園計画地で発生した間伐材を使った工作
・各種発電機による電気の勉強
・ワットチェッカーによる節電実験

主催者側の申し込みの期限が 5 月 17 日（水）ですので、5 月 12 日（金）をめどに事務局、または横山（Tel.049-246-9319）までご連絡ください。行事の詳細は、川越市ホームページ「「エコプロダクツ川越 2017」出展者募集」をご覧ください。

【トピック③・会員向け】総会・懇親会（5 月 27 日）のご案内と会費納入のお願い

2017（平成 29）年度総会（5 月 27 日土曜日 10:30-11:30）のご案内と、会費納入についてのお願いを、本誌と別送でお送りします。総会の出欠については、総会通知に同封した返信用はがきを用いて、4 月 28 日（金）必着でご連絡ください。年会費の納入は、個人会員 1,000 円、団体会員（民間団体、事業所、川越市）は 2,000 円です。5 月 26 日（金）までにゆうちょ銀行の口座にお願いいたします［口座番号 00180-2-13880（ゆうちょ銀行以外から振り込む場合は、ゆうちょ銀行 〇一九支店 当座 0013880), 加入者名：かわごえ環境ネット］。振込方法によって手数料がかかります。また、総会終了後（12:00-13:30）に川越市やまぶき会館そばにある「どんぐりの木」で「懇親会」（会費 1,500 円）を開催しますので、こちらもぜひご出席ください。

会合

●社会環境部会（2017 年 4 月度）
日時：4 月 14 日（金）13:00-15:00
場所：福田ビル 3 階会議室（川越市郭町 1-2-3）

●自然環境部会（2017 年 4 月度）
日時：4 月 14 日（金）15:00-17:00
場所：福田ビル 3 階会議室
＊両部会とも会員はどなたでも参加できます。
＊両部会は、毎月第 2 金曜日 13:00-15:00, 15:00-17:00 連続開催（次回は 5 月 12 日（金）同所）

◆事業運営委員会（2017 年度第 1 回）
日時：4 月 12 日（水）9:00-10:00
場所：福田ビル 3 階会議室
＊次回は 5 月 17 日（水）9:00-10:00 同所

◆理事会（2017 年度第 1 回）
日時：4 月 12 日（水）10:00-12:00
場所：福田ビル 3 階会議室

◆理事会（2017 年度第 2 回）
日時：4 月 26 日（水）9:00-12:00
場所：福田ビル 3 階会議室
＊次回は 5 月 17 日（水）10:00-12:00 同所

◆広報委員会（2017 年 5 月度）
日時：5 月 10 日（水）9:00-10:00
場所：ウェスタ川越 2 階市民活動・情報コーナー（川越市新宿町 1-17-17）

自然環境部会主催事業

★「(仮称) 川越市森林公園」計画地 植物調査・保全作業（毎月第 2・第 4 月曜日）

日時：4 月 10・24 日、5 月 8・22 日 9:30-12:30

集合：川越南文化会館（ジョイフル）（川越市今福 1295-2）

問い合わせ：賀登（Tel.049-234-9366）

★池辺公園定例活動

日時： 5 月 9 日（火）9:00-12:00

場所：池辺公園（川越市池辺 1302）

問い合わせ：菅野

★キノコ学習会

日時：4 月 12 日（水）13:00-15:30

場所：川越南文化会館（ジョイフル）

問い合わせ：賀登（Tel.049-234-9366）

【予告】会員・関係団体の主催・関連行事

NPO 法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ：谷津弘子（Tel.&Fax.049-224-9118, foresth@nifty.com）

◎森林公園かんさつ会（考える会主催）

①4 月 23 日（日）

集合・時間：国営武蔵丘陵森林公園南口前級援助（入園前受付）10:20 集合、14:30 ごろ終了解散。入園料要、参加費 200 円、お弁当持参（レストランもあります)、雨天決行

サクラやスミレの花を楽しみましょう。水辺の生き物や野鳥を探しましょう。

②③④4 月 30 日（日）・5 月 3 日（水）・5 月 4 日（木）

集合・時間：国営武蔵丘陵森林公園南口武蔵管理センター1 階（当会が受付）10:20 集合、14:30 ごろ終了解散。お弁当持参、雨天決行。双眼鏡があると便利。筆記具。参加費無料。

野草パトロールを兼ねて動植物の調査を行います。参加頂ける方は、当会までご連絡ください。

⑤⑥5 月 7 日（日）・5 月 17 日（水）

集合・時間：国営武蔵丘陵森林公園南口（入園後受付）10:20 集合、14:30 頃終了解散、入園料要、昼食持参（レストランもあります）

今回は、園内に生息する動植物の調査を兼ねてかんさつ会を行います。トンボやチョウも飛び交う季節です。みなさまの参加をお待ちしております。

福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子（Tel.049-246-9319）

◎おいしく・楽しく農業体験

日時：4 月 8 日（土）9:30-12:30 ごろ

5 月 13 日（土）9:30-12:30 ごろ

場所：明見院（今福 677）近く

内容：農作業（B 級品のお土産付き）

会費：保険代 100 円、クラブ員 1 家族 1,000 円（年間）

2017 年度予定表

月	日	活動内容予定
4	8	大根畑の片付け他
5	13	枝豆の植え付け他
6	10	人参畑の片付け他
7	8 随時	トウモロコシの収穫作業 トウモロコシの片付け（平日）

みなみかぜ いきいき田んぼの会（川越生物多様性有機農法で地域づくりに取り組む会）

問い合わせ：社会福祉法人健友会 地域交流センターみなみかぜ 担当：佐藤（Tel.049-234-8500[9:00-17:00], Fax.049-239-5646, E-mail: tanbo373@yahoo.co.jp, 350-0807 埼玉県川越市吉田 204-2）

いつからでも、誰でも参加でき、活動の一回体験も可です。体験だけでもしてみませんか、楽しいことうけあいですよ♪　田んぼ活動でいきいきしたいあなたを求めています！

◎農作業（金曜日の午前中）

期日：4 月 7・14・21・28 日（金）9:00-12:00

場所：地域交流センターに集合、農作業は近隣の田んぼ

◎月例会（作業終了後）

日時：4 月 14 日（金）10:00-12:00

場所：地域交流センター ホール

◎種まき

日時：4 月 22 日（土）10:00-12:00（9:30 から受付）

場所：地域交流センター

かわごえ里山イニシアチブ

問い合わせ：増田純一（E-mail: kawagoesatoyama@gmail.com, Tel.070-5599-2623）

ホームページ http://kawagoesatoyama.ciao.jp/

「かわごえ里山イニシアチブ」では、生物多様性育む田んぼの保全を目的に、みんなで連携して無農薬によるお米作りや生きものの賑わいを取り戻す活動を行っています。

◎第 2 回有機稲作ポイント研修

日時：4 月 22 日（土）9:30-15:00（受付 9:00-）

場所：髙梨農園（川越市福田 439）

参加費：一般 300 円（保険、資料代など）

持ち物：昼食、長靴など農作業のできる服装

「初雁の里」田んぼのポット苗、マット苗の種まき、置き床の設置、防鳥対策ネットの設置などの実習を行います。

◎食べる生きもの調査（植物編）

福田の田んぼ周辺・河原にて植物調査・採取を行います。採取した野草を調理して食します。川越市との共催です。

日時：5 月 20 日（土）10:00-15:00

集合場所：髙梨農園

調理場所：北部地域ふれあいセンター（川越市山田 1578-1）

参加費：小学生 500 円、会員・中学生以上 1000 円、一般 1500 円／会員無料

講師：食楽風土（クラフード）林鷹央氏、安田花織氏

◎例会

毎月第 4 土曜日に行っている例会は、第 2 回有機稲作ポイント研修のために変更になります。ホームページ（4 月 1 日開設）でご確認ください。http://kawagoesatoyama.ciao.jp

今後の活動予定

期日	時間	内容
4/22（土）	9:30-15:00	有機稲作ポイント研修会・現地②
5/20（土）	10:00-15:00	食べる生きもの調査（植物調査）と野草料理づくり
6/10（土）	10:00-16:00	有機稲作ポイント研修・現場＆座学③
6/24（土）	9:30-12:00	田んぼの生きもの調査（動物調査）
7/15（土）	10:00-16:00	有機稲作ポイント研修会・現場＆座学④
9/23（土）	9:30-15:00	稲刈り
10/14（土）	10:00-15:00（受付 9:30）会員限定	収穫祭・・・マコモ収穫お楽しみ企画、新米おにぎりなど

東洋大学小瀬研究室（こもれびの森・里山支援隊）

問い合わせ：小瀬博之（E-mail: hkose@toyo.jp, Tel./Fax.049-239-1532）

こもれびの森・里山支援隊 http://ameblo.jp/komorebi-satoyama/

こもれびの森・里山支援隊は、3 年間の林野庁交付金の事業を終え、新しい組織として再出発します。そのプレイベントとしてキノコの菌打ちを行います。

◎キノコの菌打ち

日時：4 月 15 日（土）9:00-12:00

場所：東洋大学川越キャンパス 4 号館前集合（8:30）（川越市鯨井 2100）

参加費：無料

春先に伐採したコナラをほだ木にして、キノコの菌打ちを行います。準備の都合上、4 月 13 日（木）までにご連絡ください。森ではウワミズザクラが咲くころですので、咲いていれば散策したいと思います。

クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：渡辺利衛（Tel&Fax.049-242-4322）・武田侃蔵（Tel.090-2521-5770）

◎「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

①第 1 火曜日・第 3 木曜日

日時：4 月 20 日（木）・5 月 2 日（火）・18 日（木）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

②第 2 日曜日

日時：4 月 9 日・5 月 14 日（日）9:30-11:00

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ。

③第 4 土曜日

日時：4 月 22 日（土）・5 月 27 日（土）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

◎川の国・新河岸川市内流域の清掃

原則として第 4 日曜日 9:00 より 2 時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の 3 日前までに武田（Tel.090-2521-5770）へご連絡ください。

①4 月 23 日（日）9:00-11:00

上野田の新河岸川起点から三日月橋まで。八幡橋そばに集合。月吉陸橋下の広場横にごみ分別収集。解散。

②5 月 28 日（日）9:00-11:00

新赤間川の新琵琶橋から、上流・下流を清掃。オアシス裏口に分別収集。解散。

小畔川の自然を考える会

問い合わせ・申し込み：賀登環（Tel. 049-234-9366）

◎小畔川魚類調査

日時：5 月 21 日（日）10:00-12:00

場所：八幡橋上流

網、ウェダーは貸し出します。気軽に参加ください。

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：笠原啓一（Tel.049-222-0957）、当日の携帯電話連絡（Tel.080-6584-3010）

◎伊佐沼でバードウオッチング

（毎月第 2 日曜日、小雨決行）

集合：10:00 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや

持ち物：筆記用具・あれば野鳥図鑑・双眼鏡・飲み物

参加費：一般 300 円、高校生以下 100 円（保険代・資料代）

解散：集合場所にて 12:00 ごろ

①4 月 9 日（日）10:00-12:00

沼からカイツブリのさえずりが、コチドリがペアで鳴きかわして飛びます。桜は満開、春らんまんです。春を満喫してください。

②5 月 14 日（日）10:00-12:00

水をたたえた沼にアシの緑が鮮やかです。カイツブリは巣作りをしています。バンが鳴き、サギの群れも南の国から帰ってきました。コアジサシの飛来も期待できます。

アースデイ東京見学実行委員会

申し込み・連絡：武田侃蔵（Tel.090-2521-5770, Fax.049-222-0786）

◎アースデイ東京 2017 見学会

日時：4 月 22 日（土）・23 日（日）東京代々木公園の主会場及び明治神宮裏第二会場。両日とも 9:30、JR 原宿駅出口の神宮橋際集合。事前に用意したパンフレットで会場の説明。16:00 見学終了予定。個人の自由行動も可。資料代と保険で参加費 100 円。申し込みと連絡は武田まで。

広報委員会からのおしらせ

●新年度会員募集

かわごえ環境ネットは、自然を守りたい、緑をいっぱいにしたい、川や水辺をきれいにしたい、ごみを減らしたい、歴史的街並みを大切にしたい、環境にやさしい生活をしたい、仕事で環境問題を考えたい、環境について話し合いたいなどと考えて活動したい人や団体が、協力してこれからの川越のことを考えたり､働いたり、情報交換をするための組織です。

会員になれば、毎月本紙を郵送でお届けするとともに、関連するチラシなども同封します。専門委員会の活動にも参加でき、さまざまな人的な交流や情報交流ができます。

会員になるのであれば新年度が最適です。個人会員は 1,000 円、5 名以上の団体会員は 2,000 円で会員になれます。入会についての詳細は、かわごえ環境ネットホームページをご覧いただくか、事務局にお問い合わせください。

http://kawagoekankyo.net/news/admission.html

かわごえ環境ネット入会案内　QR コード

●本紙への原稿投稿を受けつけています

2017 年 5 月号（No.127，5 月 1 日ごろ発行）の掲載原稿は、4 月 15 日（土）締切です。原稿と写真は電子データで編集担当共有のメーリングリスト（koho@ml.kawagoekankyo.net）にお送りください。メーリングリストは事前登録が必要です。未登録の方は事務局に問い合わせください。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局（環境政策課、川越市役所本庁舎 5 階）に提出してください。

●入稿に際してのお願い

編集をより効率的に進められるよう、入稿の際に次の事項にご協力いただければ幸いです。

①所定のテンプレートに入力を

Word 形式のテンプレートを用意しています。そちらを使っていただけると効率的に編集ができます。入用の方は広報委員会にご連絡ください（koho@kawagoekankyo.net）。

②文字の入力方法を統一的に

英数字はすべて半角で入力をお願いします。「()」「:」は原則として全角を用いていますが、英文や時刻表示の「:」は半角を用いています。

③図表や写真にはタイトルをつけて

読者が状況を把握するのに役立ちます。

④画像は添付ファイルで提出を

長辺を「800 ピクセル」程度にサイズを小さくした上で、ファイルを別途添付して提出してください。Word に貼り付けずにタイトルがわかるようにしていただければレイアウトします。

⑤原稿の入稿期限（毎月 15 日）にご協力を

原稿が揃わないと効率よく作業できません。早期の発行にご協力ください。

●インターネットでの情報発信

1.本紙がカラーで見られます

残念ながら会員に送付及び公民館等で配布している紙版は、モノクロの孔版印刷のために画像がつぶれてしまい、判別がつきにくい状況です。本会ホームページでは、バックナンバーを含めてカラーで本紙 PDF ファイルが見られます。鮮明な画像でぜひお楽しみください。スマートフォンにも最適化されています。

（http://kawagoekankyo.net）

かわごえ環境ネットホームページ　画面

2.Twitter でかわごえ環境ネットをフォロー

本会 Twitter（@kawagoekankyo）は、ブログ

の更新と連動してツイートします。Twitter にユーザー登録してぜひフォローしてください。

（https://twitter.com/kawagoekankyo）

かわごえ環境ネット Twitter　画面

3.Facebook ページ「いいね！」してください

本会は、Facebook でも積極的に情報発信しています。かわごえ環境ネットからのおしらせだけでなく、イベント等の報告も逐次行っています。Facebook に登録していなくてもご覧いただけますが、ぜひアカウント登録を行って「いいね！」してください。

https://www.facebook.com/kawagoekankyonet

かわごえ環境ネット Facebook ページ　画面

QR　ホームページ　　Twitter　　Facebook ページ

●かわごえ環境ネット活動関連・川越市ほか 4 月人事異動一覧

環境部関係：環境政策課主幹　武藤貴子（同副主幹）　同副主幹　有馬宗弘（職員課副主幹）　同主事　山本陽二（生活福祉課）　同主事補馬渡　開（新採用）　事務局担当の伊藤さんは、同課地球温暖化対策担当へ、渡邉さんは福祉部障害者福祉課へ異動。

環境対策課長　山崎茂（同副課長）　同副課長　山原弥（同副主幹）　同副主幹　原美香（管財課副主幹）

資源循環推進課長　飯野英一（観光課長）　同主幹　阿部秀樹（同副主幹）　同副主幹　石川智治（同主査）　同主査　都所聡子（男女共同参画課主査）

収集管理課副課長　新井偉雄（教育総務課）

▽関係部署の異動

産業観光部長　大岡敦　同観光課長　松本秀規

都市計画部都市計画課長　小林武

建設部長　宮本一彦　道路街路課長　谷澤浩

道路環境整備課長　前島清孝　河川課長　松本康一　道路管理事務所長　小谷野博之

上下水道局長　石井隆文

埼玉県西部環境管理事務所長　葛西聡　同担当部長　田中秀一　同　相良純子　川越県土整備事務所副所長　金井正義　同河川部長　大塚信孝　同河川担当課長（新河岸川）上田貴司　同（不老川）大塚正　同（所沢）小林清和

国土交通省荒川上流河川事務所　計画課長　米沢拓繁　河川環境課長　井原和彦

●おことわり

本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

イベントカレンダー（4 月 5 日～5 月 27 日）

日	月	火	水	木	金	土
★：会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●：会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 〇：その他　詳細は個別の記事をご覧ください			4/5 ◆9:00 広報委員会	4/6	4/7 ◎9:00 農作業（みなみかぜ）	4/8 ◎9:30 おいしく楽しく農業体験
4/9 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング	4/10 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全作業	4/11	4/12 ◆9:00 事業運営委員会 ◆10:00 理事会 ★13:00 キノコ学習会	4/13	4/14 ◎9:00 農作業 ◎10:00 月例会（みなみかぜ） ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	4/15 ◎9:00 キノコの菌打ち 〇本紙 5 月号投稿期限
4/16	4/17	4/18	4/19	4/20 ◎13:30 まち美化啓発運動 ★14:00 緑のカーテン苗配布と説明会	4/21 ◎9:00 農作業（みなみかぜ）	4/22 ◎10:00 ｱｰｽﾃﾞｲ東京見学会 ◎9:30 有機稲作ポイント研修会 ◎10:00 種まき ◎13:30 まち美化啓発活動
4/23 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃 ◎10:00 ｱｰｽﾃﾞｲ東京見学会 ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会	4/24 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全作業	4/25	4/26 ◆9:00 理事会	4/27	4/28 ◎9:00 農作業（みなみかぜ） 〇総会出欠はがき必着期限	4/29 昭和の日
4/30 ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会	5/1	5/2 ◎13:30 まち美化啓発運動	5/3 憲法記念日 ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会	5/4 みどりの日 ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会	5/5 こどもの日	5/6
5/7 ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会	5/8 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全作業	5/9 ★9:00 池辺公園定例活動	5/10 ◆9:00 広報委員会	5/11	5/12 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	5/13 ◎9:30 おいしく楽しく農業体験
5/14 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング	5/15 〇本紙 6 月号投稿期限	5/16	5/17 ◆9:00 事業運営委員会 ◆10:00 理事会 ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会	5/18 ◎13:30 まち美化啓発運動	5/19	5/20 ◎10:00 食べる生きもの調査（植物編）
5/21 ◎10:00 小畔川魚類調査	5/22 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全作業	5/23	5/24	5/25	5/26 〇会費納入期限	5/27 ★10:30 総会 ★12:00 懇親会 ◎13:30 まち美化啓発活動

発行日　2017 年 4 月 5 日　編集・発行　かわごえ環境ネット 広報委員会
事務局　〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1 川越市環境部環境政策課
Tel. 049-224-5866（直通）　Fax.049-225-9800　E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp
かわごえ環境ネットホームページ　http://kawagoekankyo.net/